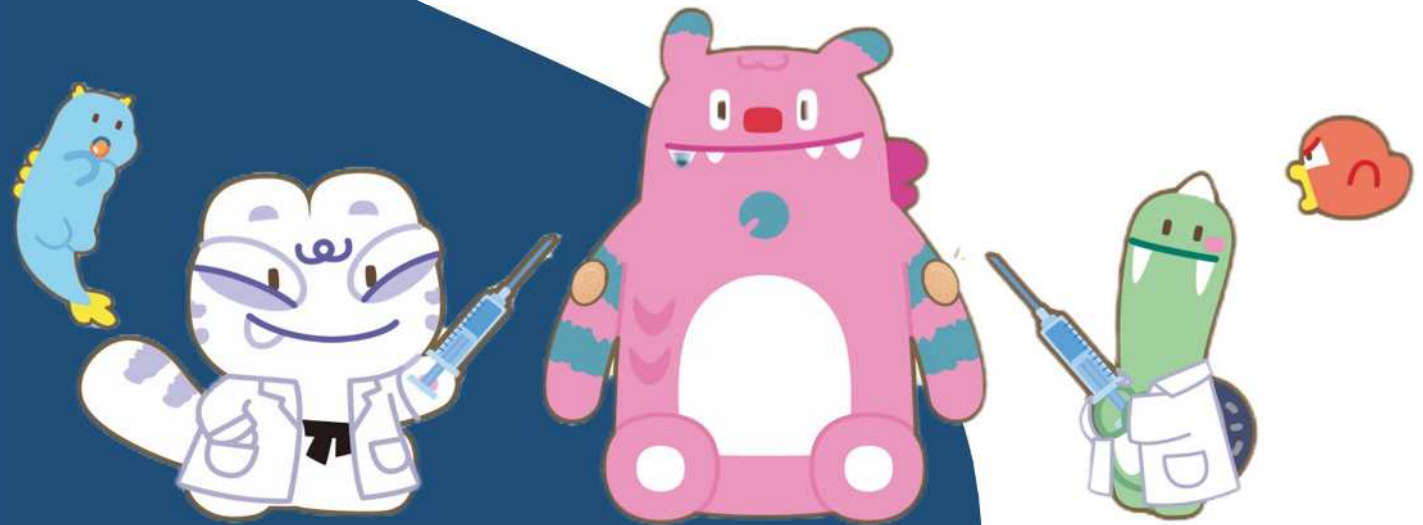


ソウルにおける国家予防接種プログラム（NIP） -政策枠組みと主な成果-



目次

- I NIPの目標
- II NIPの概要
- III NIP実施システム
- IV プログラムの主な構成要素
- V 主な成果
- VI 地区レベルの追加予防接種プログラム
- VII 結論と今後の課題

I NIPの目標

- ◆ 感染予防と重症化予防
- ◆ 集団免疫：コミュニティにおける間接的な効果
- ◆ ワクチンへのアクセス向上による予防接種率の改善
- ◆ ワクチンの安全性管理による国民の信頼確保

感染症を予防するための最も効果的な対策

VPD
ワクチンで予防可能な疾患

小児
国家予防接種プログラム

건강한

妊婦
国家予防接種プログラム

건강한

65歳以上の高齢者
国家予防接種プログラム

건강한

II NIPの概要

「国家予防接種プログラムに基づく政府資金による予防接種」

▶合計21種の感染症（NIP対象19種、臨時接種2種）が対象。韓国内のどこでも無料で接種可能

国家予防接種プログラム				臨時接種プログラム
小児	65歳以上	妊婦	高リスク者	
① ジフテリア ② 破傷風 ③ 百日咳 ④ ポリオ ⑤ B型肝炎 ⑥ 結核 ⑦ 水痘 ⑧ 日本脳炎 ⑨ おたふく風邪 ⑩ 麻疹 ⑪ 風疹 ⑫ インフルエンザb型 ⑬ A型肝炎 ⑭ ロタウイルス ⑮ ヒトパピローマウイルス ⑯ 肺炎球菌 ⑰ インフルエンザ	⑯ 肺炎球菌 ⑰ インフルエンザ	⑰ インフルエンザ	⑱ 腸チフス ⑲ 腎症候性出血熱	⑳ COVID-19 ㉑ エムボックス

III NIP実施システム



- ・計画と管理
- ・インフラ構築
- ・啓発キャンペーン
- ・調達契約
- ・監視と評価

SEOUL MY SOUL 地方自治体/
地区保健センター

- <ソウル特別市政府>
- ・実施計画
- ・進捗状況の監視と介入
- ・ワクチン供給の監視と管理
- ・ワクチン接種の促進
- ・ワクチン関連健康被害の調査
- <地区保健センター>
- ・委託医療機関の管理（研修、査察）
- ・償還請求の審査、支払いの管理
- ・ワクチン需要予測

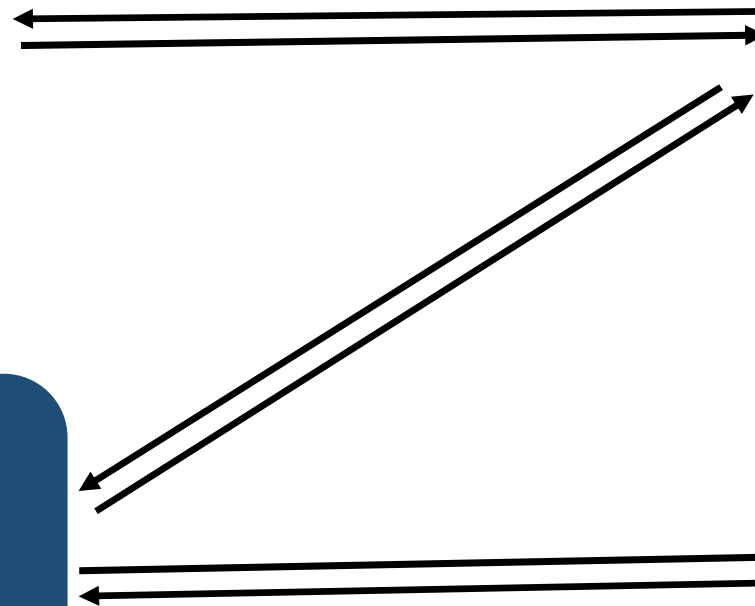
契約調達業者

- ・ワクチンの供給
- ・サプライチェーン管理の最適化



委託医療機関

- ・予防接種研修の修了
- ・ワクチン接種
- ・接種記録管理
- ・償還請求
- ・ワクチン再分配への参加

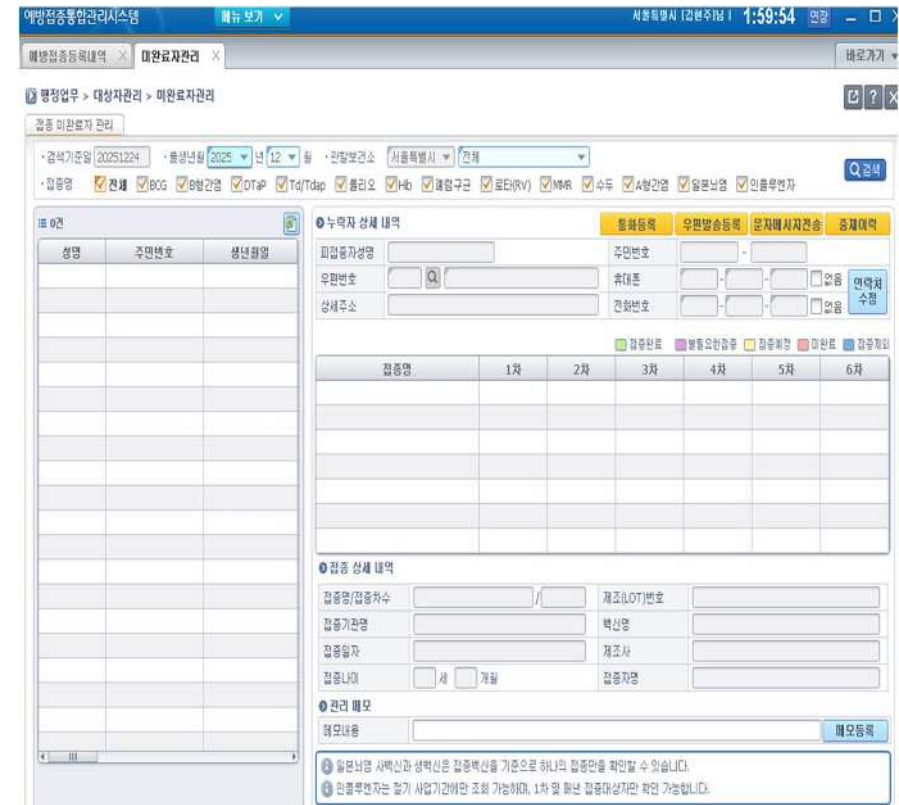


Ⅳ プログラムの主な構成要素

1.統合ワクチン管理システム（リアルタイムデータへのアクセス）

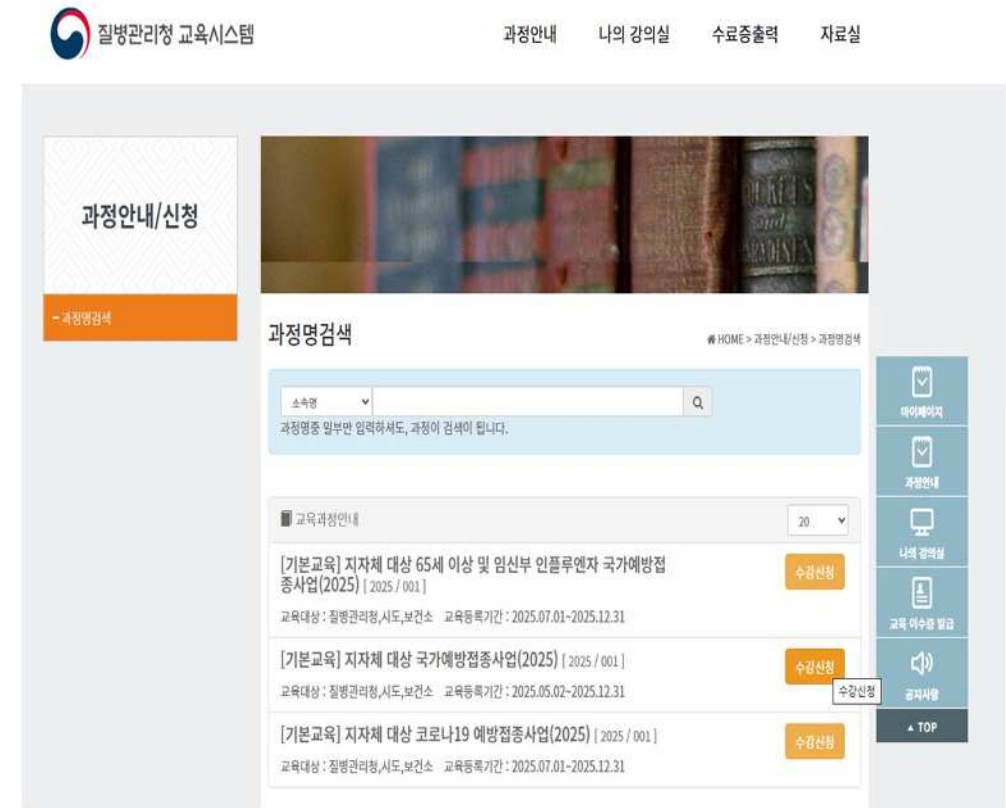
- ❖ 1 リアルタイムの接種記録へのアクセス
- 償還請求手続きを支援
- ❖ 2 予防接種証明書の円滑な発行
エビデンスに基づく実施
- ❖ 3 ワクチン未接種者の管理（例：テキストメッセージ送信）
- ❖ 4 サプライチェーンの監視と供給要求

➡ エビデンスに基づく実施が重要！！



2. 予防接種の品質管理

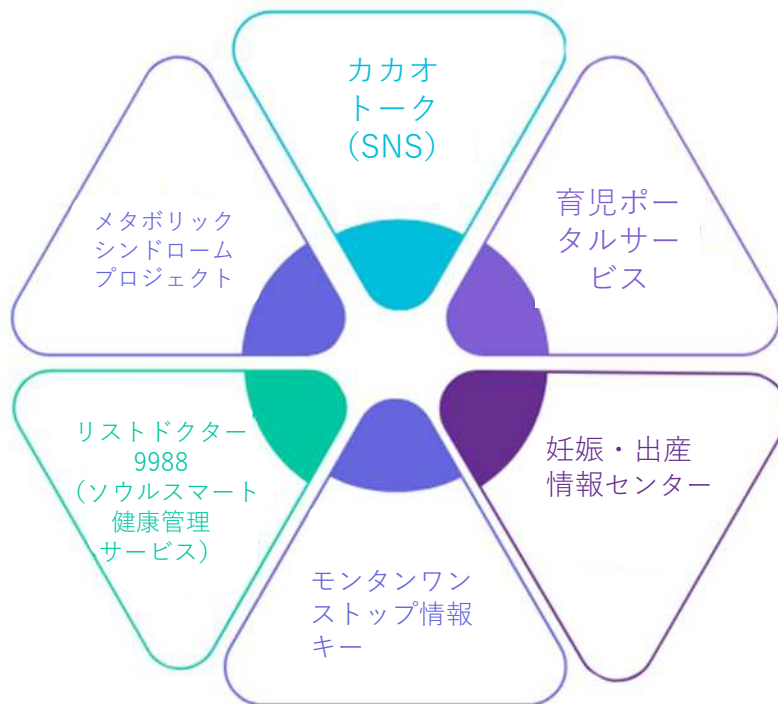
- 1 医療機関の職員に対する **必須の研修**
- 2 KDCAのLMS*による **継続教育**
- 3 **監査**（年2回）および**現地検査**（2年に1回）プログラム
- 4 **登録間違い**や**ワクチン接種ミス**が発生した場合に、
地区事務所が医療機関に**是正措置**を促すことができるようにする



*LMS : 学習管理システム

3.SMGによる対象に合わせた広報活動と連携*

1 多様なチャネルによる情報アクセスの改善



SMG*の多様なメディアやオンラインプラットフォームを通じて、接種スケジュールや対象資格などのワクチン情報に簡単にアクセス可能

*SMG : ソウル特別市政府

2 インクルーシブな政策：外国人や多文化家族への公平性確保のための情報提供



3 他部署や地区事務所と連携した推進



- 電子掲示板
- バナー
- 地区事務所ウェブサイト



- 学生のワクチン接種への参加促進
- ワクチン接種促進資料の展示



- 訪問ヘルスケア事業と心血管疾患予防・管理事業の対象者連携による普及促進



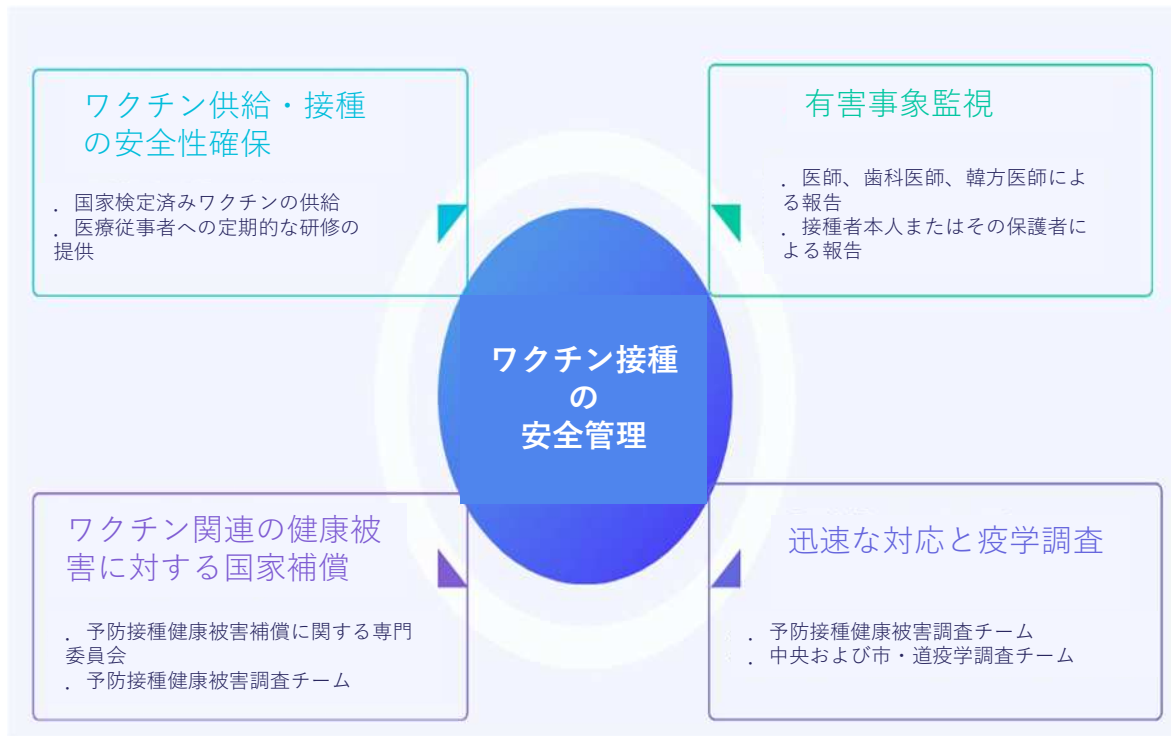
城東税務署



城北區保健センター

4. ワクチン接種後の有害事象管理システム

1 国家レベルで整備されているワクチン接種の安全管理システム



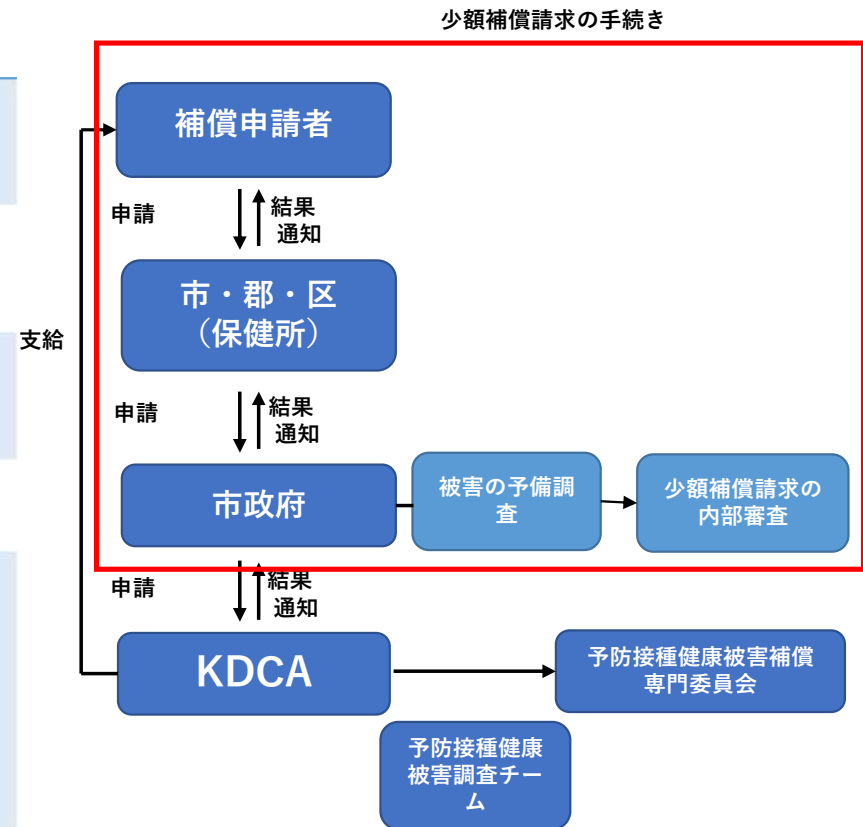
安全管理システムは前提条件
95%のワクチン接種率を達成するために

2 安全管理のための統合疾病・健康管理システムの運用

3 ワクチン関連健康被害補償制度

ワクチン接種基準を遵守したにもかかわらず発生しうる有害事象を**政府が補償する社会的保護制度**

法的根拠	感染症予防管理法第71条
申請者	予防接種実施基準及び方法（疾病管理庁告示第2026-1号）に従って予防接種を受けた者
審査プロセス	個人（申請） → 地区保健センター → 市・道（被害の基礎調査） → 疾病管理庁
申請期限	ワクチン接種後の有害事象発生日から5年以内
担当機関	疾病管理庁
補償範囲	<ul style="list-style-type: none"> ① 医療費・看護費 （国民健康保険法による保険者負担分を除いた、傷害に関する医療費の残額や1日あたり5万ウォンの定額看護費など） ② 障害の程度に応じた障害補償一時金 ③ 死亡一時金（死亡一時金、葬祭費）



V 主な成果

2025年 小児NIPワクチン19種 接種回数
: 112万9,850回

2009年に医療機関における予防接種費用の一部助成が開始されて以来、助成額と参加医療機関の数は増加を続けている



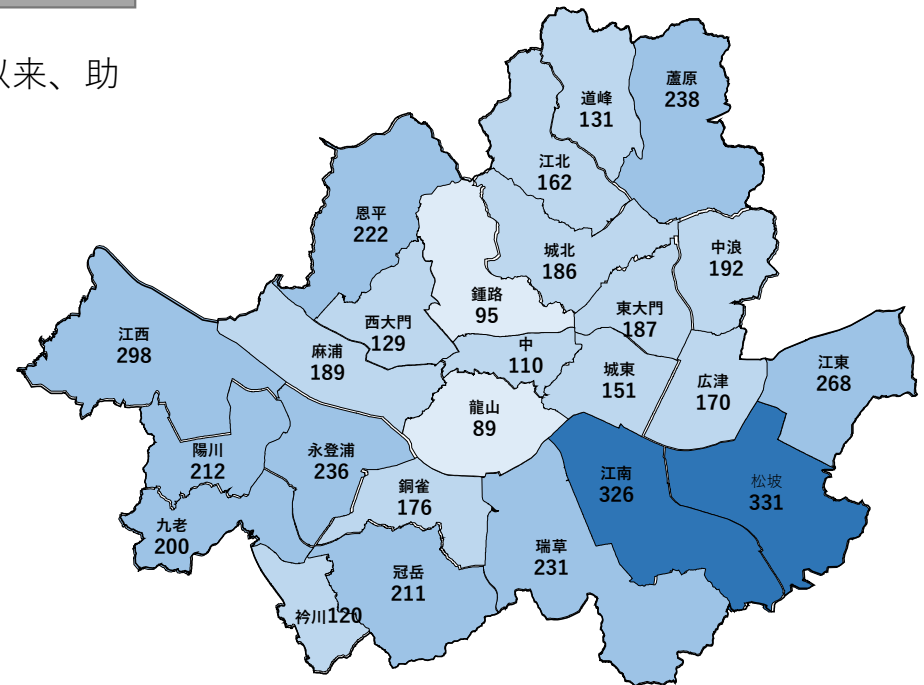
接種対象者

NIP対象者は自己負担なし



委託
医療機関の数

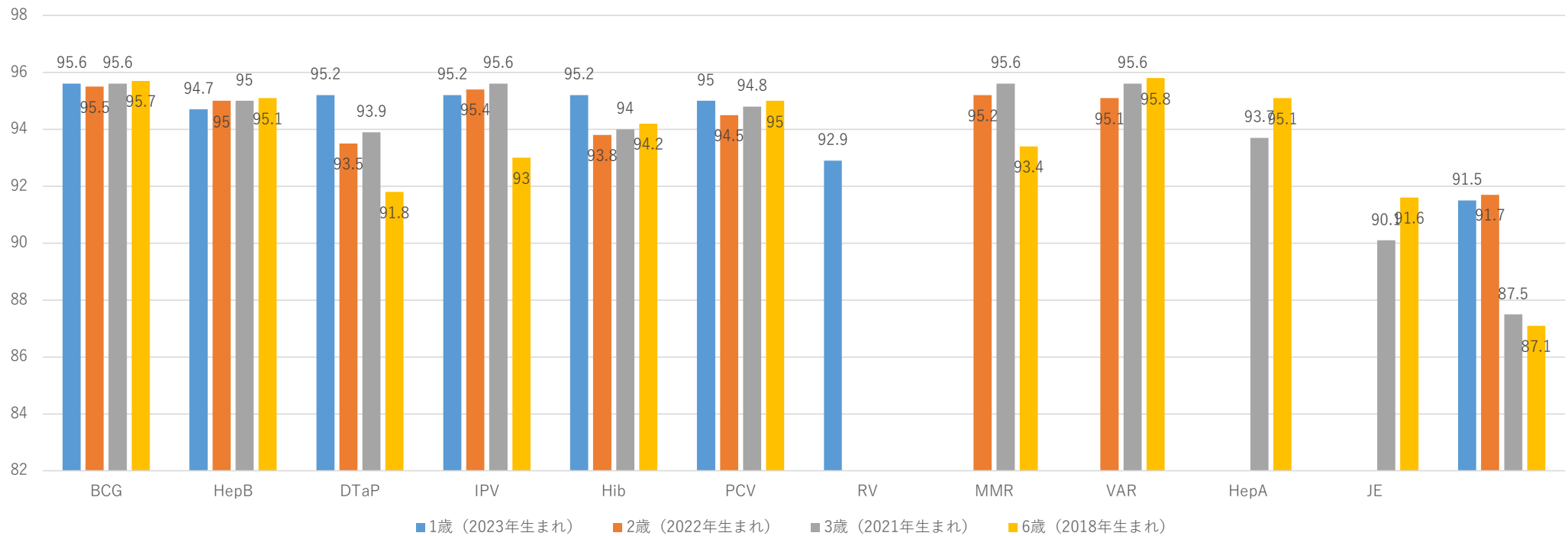
4,860



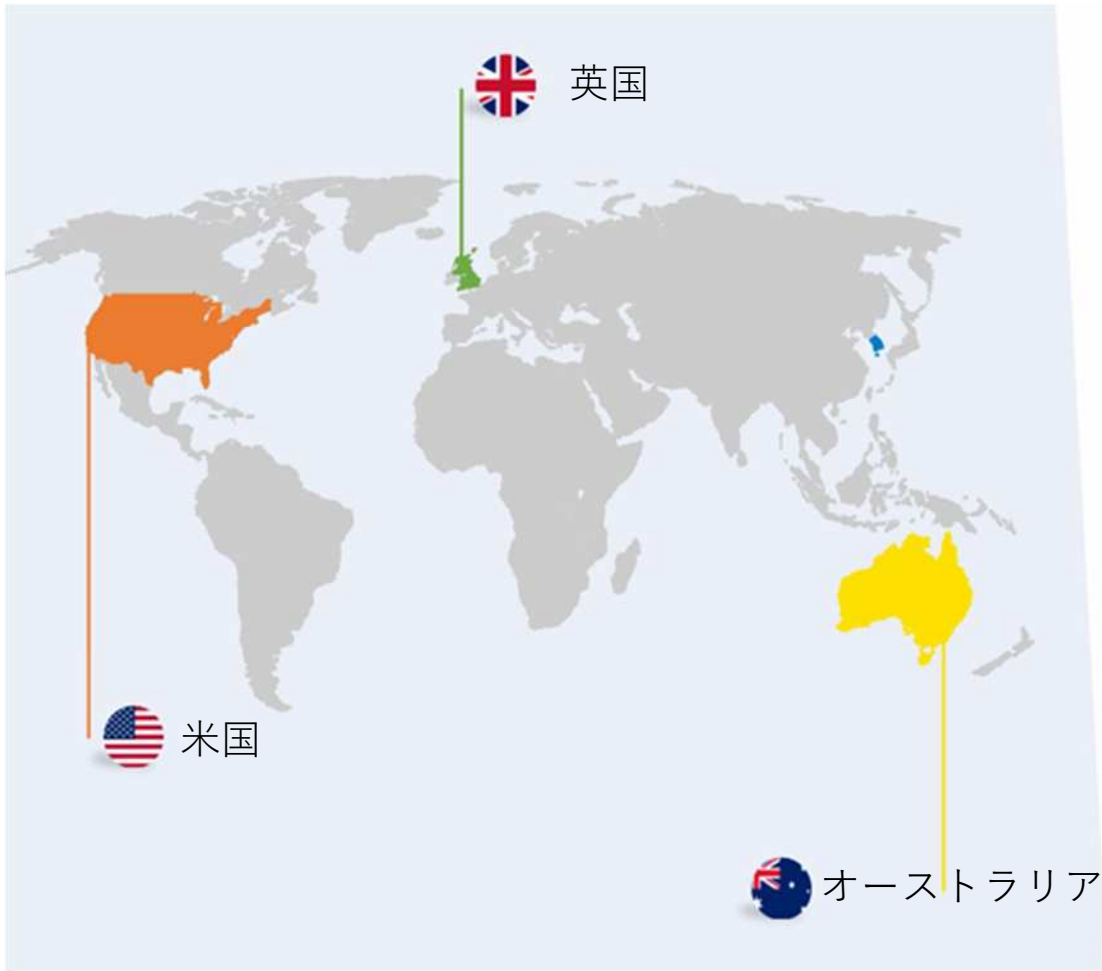
1 小児における高いワクチン接種率

- 1～3歳児のワクチン接種率は**約95%**を維持、
- NIPワクチンの完全接種率は、**乳児で90%、3～6歳で87%**を上回る
- 年齢の上昇に伴い、一部のワクチンの接種率は減少傾向にある

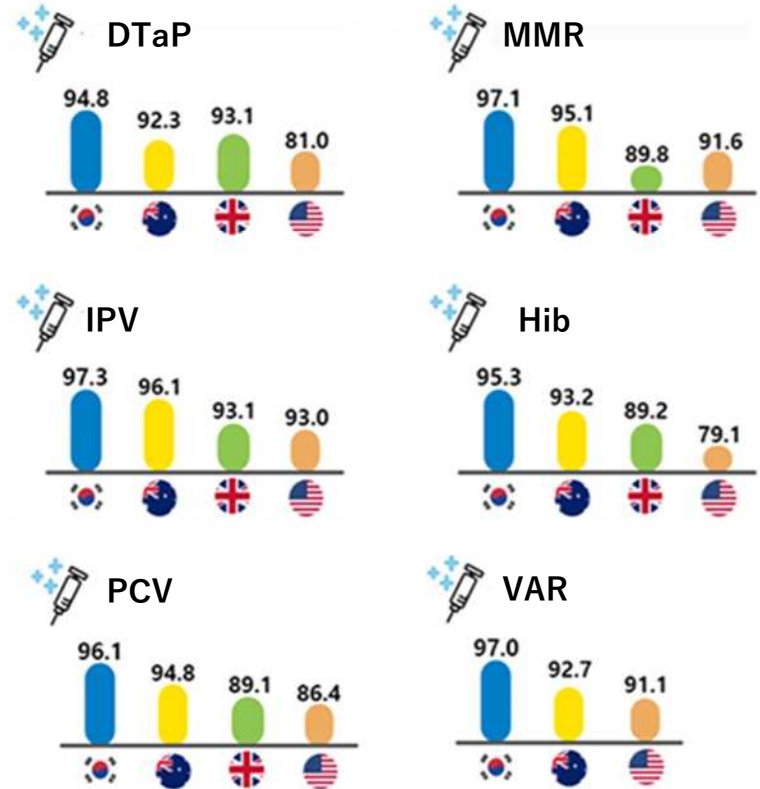
ワクチンの種類と年齢層別のワクチン接種率（ソウル）



2 小児のワクチン接種率は他国と比較して高い



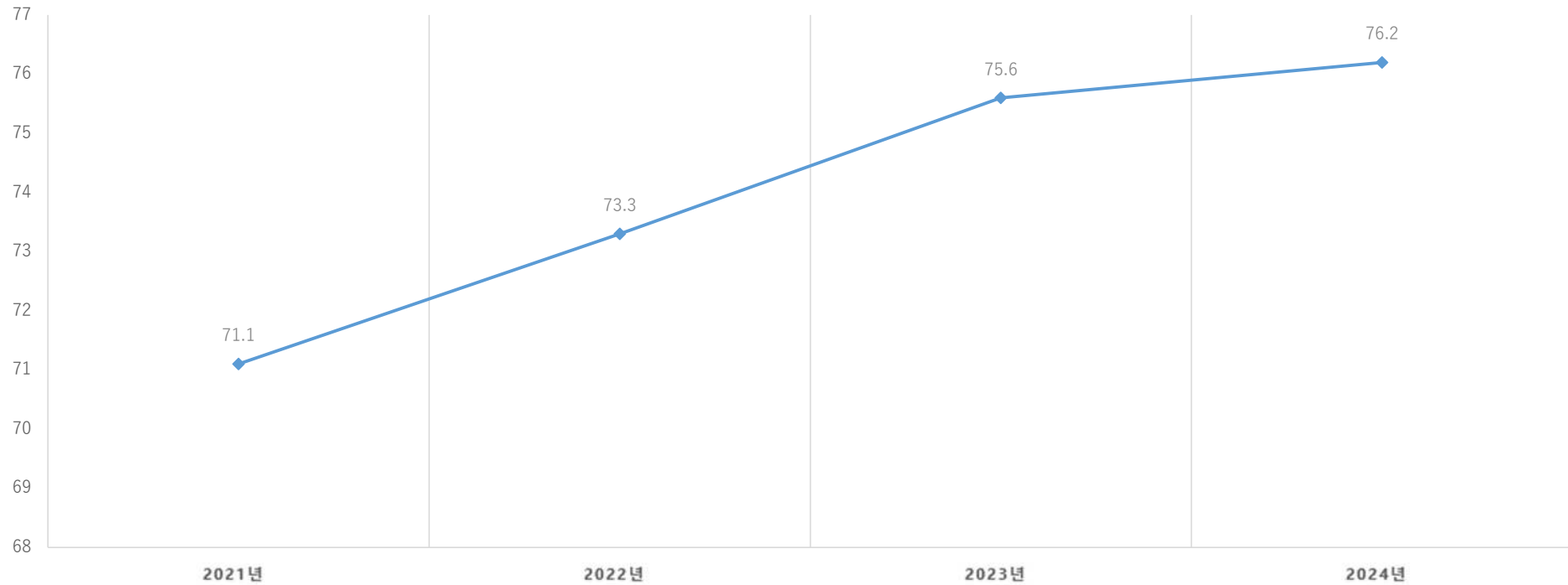
<国別2歳児の予防接種率>



3 65歳以上の肺炎球菌ワクチン接種率：76.2%

2012年に65歳以上を対象とした23価肺炎球菌多糖体ワクチン（PPSV23）の接種が開始されて以来、接種率は着実に増加しており、**累計接種率は76.2%に達している。**

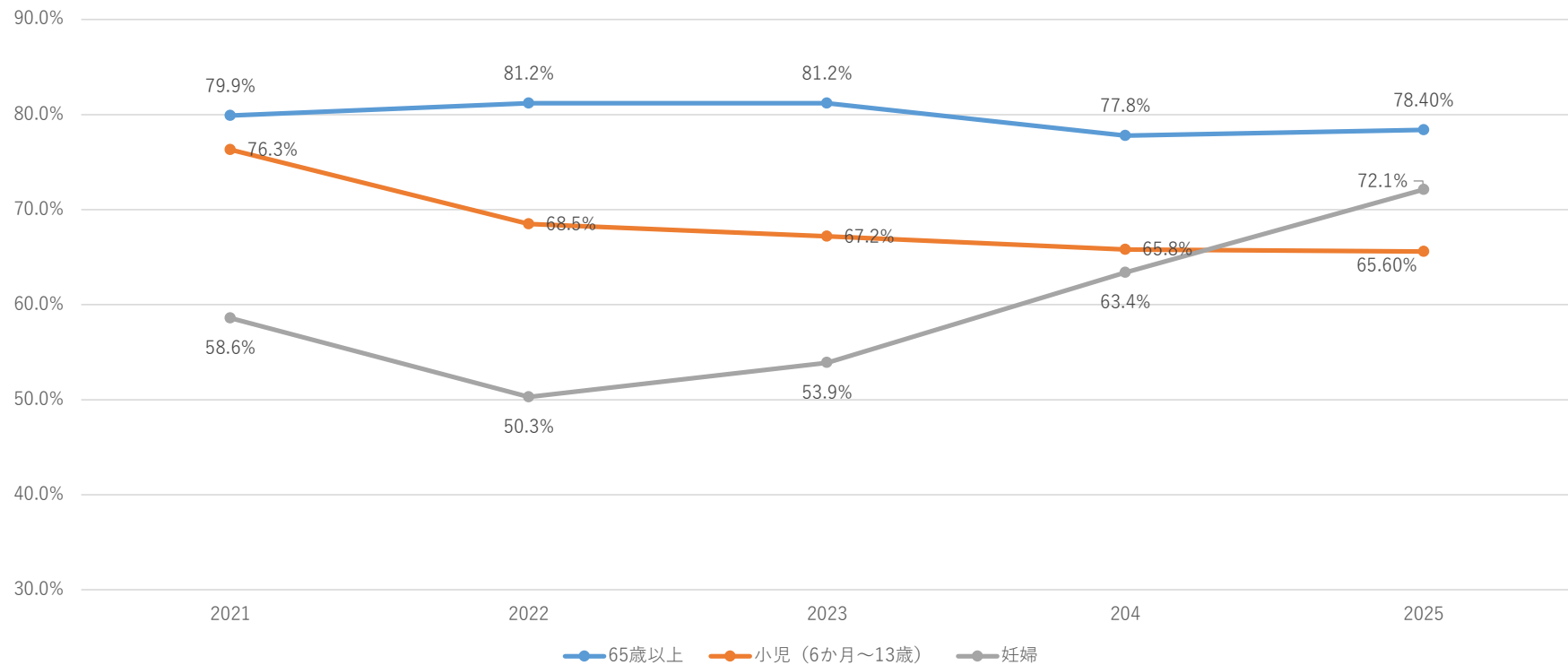
65歳以上の肺炎球菌ワクチン接種率



4 対象集団におけるインフルエンザワクチン接種率：65歳以上で80%を維持

65歳以上のワクチン接種率は安定しているが、全体のワクチン接種率を向上させるための取り組みが必要

対象人口別のインフルエンザワクチン接種率の推移



VI 地区レベルの追加予防接種プログラム

1 高齢者および脆弱層を対象とした帯状疱疹予防接種プログラム

➡ 地域の実情を反映した自治体主導のワクチン接種プログラムの例

① 対象資格の違い

- 年齢基準：50歳以上（恩平区）、60歳以上（銅雀区、松坡区、江東区）、65歳以上（ほとんどの区）
- 社会経済的基準：基礎生活受給者、医療扶助受給者、低所得者層
- 居住要件

② ワクチンの種類の違い

- 主に生弱毒化ワクチン：低コストで広く用いられている
- 組み換えワクチン：6区（城北、蘆原、江西、九老、江南、松坡）で一部助成

③ 運用モデルの違い

- 保健センター主導、医療機関主導、ハイブリッド型

VII 結論と今後の課題

- 1 成人および高齢者向けワクチンの追加、新規ワクチンへの支援拡大
- 2 加齢に伴うワクチン接種率の低下への対応
- 3 有害事象に関するコミュニケーション強化による国民の信頼の向上
- 4 デジタルベースの管理システムの高度化

ソウルのNIPは、データ駆動型の管理システムと医療機関とのネットワークを通じて、**高いワクチン接種率**を達成し、**国民の信頼**を獲得している。中央政府の政策と地方自治体の執行を組み合わせたモデルである。